

「学び」を止めない！～新県立図書館のあり方～

① コロナ禍において、感染予防対策にとどまらず、長期の休校で学校への足取りが重くなる学生にとっての、「学びの場」。

② 小さい子どもを静かな図書館に連れていくことがはば「かられない」「本の触れ合い場所」。

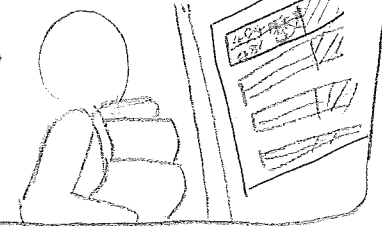
駅から直接つながっていいば、通勤・通学の人たちが立ち寄りやすい!!

＜一般エリア＞ → 1階 1F 白
 騒音吸収カーペット素材
 ・ 親子連れ、児童向け、高校生、大学生のディスカッション、本の触れ合い、探究の場

＜研究エリア＞ → 2階 2F 白 静寂
 個人研究 → 高校生、大学生、調べ物

ロビー - サーモグラフィ
 待ち合わせ、休憩に来た人向け。大画面のスクリーンを置き、「ふじのくに」"おか"を知ることでできる映像を流し、少しでも多くの人々が興味を持つようにする。月に1回文化イベント開催。

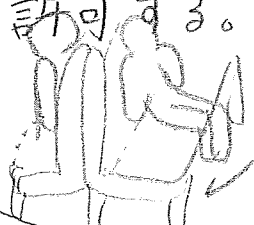
個人研究
 ・ 静寂な空間で研究に没頭。顔を上げればいつでもここに館内見取り図がある。



個人学習
 ・ 学校に行くため電車に乗って、またかというも行く気がない、でも引き返すのは後者めたい学生は、ここに来れば「学び」を止めることがない。
 ↳ 教科書を取り込んだiPadの貸出し

児童スペース
 ・ 調べ物や、個人の学習が得意。通称「絵本広場」
 ・ 週に1度、紙芝居がある。
 ・ 児童書を何でも読める。
 ↳ 小さい子どもが本に関心を持つようになる。

休憩所
 ・ 飲食、多少の会話を許可する。
 向き合ったことを徹底!



を広げ、感染予防のため柵の間、動線を確保

研究・ディスカッション
 ・ 高校生、大学生が、個人の研究にとどまらず、話しあうことが出来る。(歴史・文化・環境など)
 ↳ 蔵書の多い図書館でしかできないこと。
 ・ 会議室のような所

＜感染対策＞
 ・ 感染予防のため貸し出しはパネル式。無人にする。
 ・ 徐菌ロボットを導入し、常時巡回させる。
 ・ 感染対策を意識した席配置。

東青馬
 サーモグラフィ